

ひとりひとりひかる

きぼう

2001 10/1
第26号

発行：かしの木事務局／かしの木の里内 尾西市富田字砂原2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp
 檜の木園 : kasiyen@k3.dion.ne.jp 檜の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp



▲会場は講演を聞く参加者の熱気にあふれた。



社会福祉法についての講演会を去る7月6日に、尾西市南部公民館で開催いたしました。かしの木の会の広報研修委員会が主催で、尾西市民生部福祉課長の柴垣修氏に「社会福祉が変わる」というテーマで実施しましたところ80名程の参加があり、関心の高さがうかがわれました。

講演を聞いて、老眼鏡の向こうに見える改革の内容の字面と現実との隔たりが大きく、これから先どうなるのだろうと不安を隠せないでいる人もいました。新しい制度について皆さんはどう思われますか。

【26号きぼうの目次】

表紙 写真 目次	P. 1
講演会を聞いて	P. 2~3
地域・福祉コーナー／苦情解決制度	P. 4
地域・福祉コーナー／かしの木の会取り組み	P. 5
地域・福祉コーナー／ドレミコンサート	P. 6
かしの木の会コーナー 盆踊り	P. 7
かしの木の会コーナー 檜の木フェスティバル	P. 8
施設コーナー 里／プラスバンド	P. 9
施設コーナー 作業所の取り組み	P. 10~11
文芸コーナー	P. 12
かしの木の会 積立金の取り組み	P. 13
お知らせコーナー	P. 14

「社会福祉が変わる」講演会の感想

感想① 講演会については分からないことばかりですっきりしませんでした。障害を持っているお母さん方は、皆一緒の考えだと思います。社会に負けてはいけません。せめて社会の方々と協力してよりよい福祉に取り組んでいきたいと思いました。自分の子どもは施設にお世話になっているからと安心はできません。将来を考えるとのんびりしてられません。皆さんと手を取り合ってがんばりましょう。役員の方々ご苦労様でした。ありがとうございました。(K・H)

毎日が楽しい笑顔で待つ幸せ 障害に負けない元気なわが娘

感想② かしの木の里の一年間の取り組みについて野崎先生より実態に即したお話を伺いました。

尾西市出前講座で尾西市民生部福祉課長の柴垣 修氏の講演会を開催しました。テーマは社会福祉が変わるということで78名の多くの出席者がありました。檜の木園、檜の木作業所、かしの木の里の会員、先生方、また一般のボランティアの方、市役所の福祉課の人たちが真剣にお話を聞いてみえました。

社会福祉の基礎構造改革と言われ福祉が大きく変わると言われていますが、親の一番気にかかることは子どもの成長ではないでしょうか。学校を出てからどうしたらいいのか、どこかの施設へは入れるのだろうか、現に今檜の木でも入所したくて困っている人が増え続けています。また入れた人たちでも親の亡き後は、どうなるのだろうか心配事はつきることがありません。通所施設、グループホーム、ホームヘルプを利用して地域で暮らす等、その子に適した方法がとられるように望んでいます。

その為にはまず親や家族また福祉に関係する多くの方が、社会福祉法でながどのように変わろうとしているのかを勉強し、一人一人が自覚を持って考えなくてはいけないと思います。障害者と一緒になった地域生活が当たり前になるように、住み良いあたたかい町になるように全員が協力し合って目的が達成できるように会としても育て上げていかななくてはならないと考えます。そして子等の将来が明るい希望のある現実になることを願い皆様方と一緒に考え、勉強し、実践していきたいと思います。

(保護者 Y・H)



感想③ みんなが幸せになるよう行動しよう！

講演では、戦後に制度化された社会福祉制度では、今日の増大し多様化する福祉の需要に対応していくことが困難になっているとのこと。今日の福祉を取り巻く状況は少子高齢化、家庭機能の低下、低経済成長への移行があり、これからの社会福祉の理念としては、国民自らの生活は自らの責任で営むことが基本である。今までは、県や市による措置制度での福祉でしたが、今度からは利用者が対等な関係に基づき福祉サービスを選択し、契約する制度に変わるという。

以上何かむづかしい言葉ばかり並べましたが、現実には利用者が選べる所へ入所したくても満員で定員オーバーになり、施設に入ることを自由にできないのが現状です。どうしようもないというのが心情です。この先どのように制度が変わっても、障害のある子がよくなって自立できる望みもありません。親も子も歳を重ねていきます。高齢化が進みます。障害者福祉も老人福祉も福祉として問題が山積していることは私にも分かっています。

だからこそ、小さな情報や意見を見守り聞いて、今できることをきちんとやり続けていくことから、障害が重い子、軽い子、介護の必要な老人みんなが社会の一員として一人ひとりが大切にされて普通に暮らせるようにしていきたい。私たちが暮らす地域はお互いに助け合って生きていこうとする人々の集まりであるはずです。自分だけが得をすればいい、自分の子さえ施設に入れてもらえればいい、という思いでなく、みんなが幸せになれるような運動をしてはじめて安心して人が共に助け合って生きていく地域社会になると思っています。自分自身も頑張って行動して精一杯の働きをして、みんなが幸せに生きていけるようにと願っております。

(保護者 N・K)



「措置制度から支援費支給方式へ変更？」

地域福祉コーナー ①

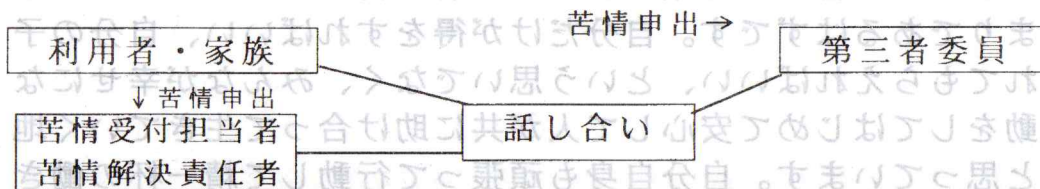
福祉サービスに関する 苦情解決制度の利用について

社会福祉法人 檜の木福祉会

2000年6月の社会福祉法の成立において、「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない。」とあり、当檜の木福祉会においても整備いたしましたのでご案内いたします。この制度は福祉施設を利用する人やその家族の人等の苦情を受け入れ、その解決を図ることで、福祉サービスの質の向上と満足をはかることを目的としています。

この制度の利用は、苦情受付窓口として各施設に苦情受付担当者を置き、苦情解決責任者に各施設長があたります。そして苦情を第三者的な立場に立って公平に解決するために第三者委員を選出し、より適切な解決ができる仕組みになっております。また、檜の木福祉会の制度で解決できない場合は、愛知県社会福祉協議会の中に設置された運営適正化委員会に相談できます。

檜の木福祉会苦情解決制度



苦情解決委員の紹介

○ 第三者委員 太田 欽也 (尾西市社会福祉協議会事務局長)

連絡先：尾西市東五城字大平裏38 尾西市社会福祉協議会内

黒原 勉 (檜の木福祉会評議員・かしの木の会副会長)

連絡先：中島郡祖父江町森上字本郷1-23-5

小塚 峰子 (檜の木福祉会評議員・かしの木の会副会長)

連絡先：尾西市明地西七丁原3-5

○ 苦情解決責任者 橋本 昭一 (檜の木作業所施設長)

只井 秀明 (檜の木園施設長)

石田 和夫 (かしの木の里施設長)

○ 苦情受付担当者 河本章宏 (檜の木作業所指導員)

中井 一成 (檜の木園指導員)

野崎 貴詞 (かしの木の里指導主任)

地域福祉コーナー②

積極的参加が福祉の歩みに

—秋たけなわ、尾西市の大きなふたつのとりくみ

尾西まつり

尾西まつりは、市役所から尾西一中までの間で、イベントやお店など多彩なお祭りです。同時に、『ふれあいで伸ばそう福祉の心』をテーマに文化会館1階にて第19回福祉団体作品即売会が開催されます。福祉施設や福祉団体のパネル紹介と手作り作品の展示即売会が行なわれます。丹精込めて作った作品が一杯並んでいます。是非お立ち寄りいただき、いろいろ見て行って下さい。とても楽しいと思います。

日時：平成13年10月27日（土）午前10時 ～午後4時

10月28日（日）午前 9時30分～午後3時

場所：尾西市文化会館（第19回福祉団体作品展示即売会）

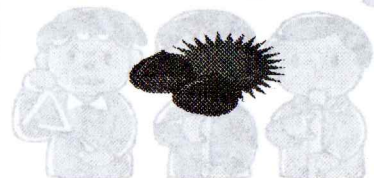
尾西福祉フェスティバル

尾西市福祉フェスティバルは、『であい・ふれあい・おもいやり』をテーマに豊かな福祉の街づくりを達成していくための行事です。

福祉団体及び福祉関係団体の27のコーナーがあります。ヘルパー活動紹介、ボランティア活動紹介、小中学校生徒のポスター展示、檜の木施設の紹介やかしの木の会の手作り作品の展示、お年寄り体験、介護用品紹介、ミニ生花体験などなど。またうどん、ラーメン、みたらし、ぜんざい、コーヒーなど7つの模擬店コーナーもあります。市民会館のステージでは、鼓笛や太鼓演奏、かしの木の里と安美&コンプリオ、講演、抽選会などがあります。尾西の福祉の状況を見たり、聞いたり、活動している人たちと話してみることも有意義だと思います。皆さんもぜひ参加してみてください。

日時：平成13年11月18日（日）午前10時～午後3時

場所：尾西市民会館・市役所西駐車場



地域福祉コーナー ③ ドレミコンサート、響け

♪♪♪

～尾西市の音楽のまち～

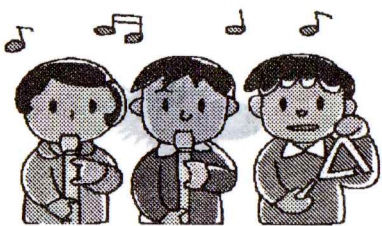
安美&コンプリオ主催のドレミコンサートが、9月9日の日曜日の午後尾西グリーンプラザの講堂にて開催されました。このコンサートは榎の木作業所、榎の木園、かしの木の里の、利用者や家族の皆さんに招待をしていただき、希望者の120余名が加わり、会場は300余名で一杯になりました。この日、ロビーではかしの木の会とかしの木の里の手作り作品のバザーが行なわれ、とても賑わいました。受付に置かれた募金箱にも7千余円ものご好意が寄せられ、尾西市社会福祉協議会へ届けられました。

さて、コンサートは、SMAPメドレーや踊る大捜査線から、ショパンワルツなどの曲目が安美&コンプリオにより演奏され、また金管による五重奏、子供のサーカス、魔女の宅急便、ジャンケンピョンなどが演奏されました。

会場は、やはり生の迫力から、首を振る人、体を揺る人、立って手拍子を打つ人、歓声をあげる人と様々。舞台の前にはひかれたトレーニングマットの上では小さい子供がじっと座って聞いたり、飛び跳ねたりして聞いていました。しかし、会場は演奏を楽しむなかで、いろんな人達の交流の場にもなっていました。 ♪♪♪



♪安美&コンプリオの皆さんの演奏♪



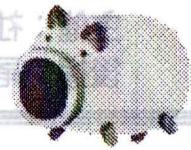
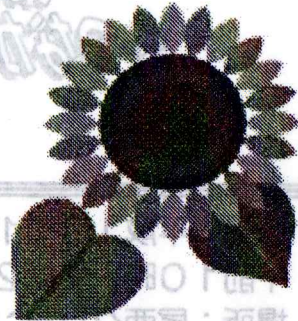


それぞれの櫛の木盆踊りでした!

かしの木が地域の人たちといっしょに行なう夏の一大イベントは、今年も大盛況でした。毎年、櫛の木作業所のグラウンドに紅白の提灯が張り巡らされると、「盆踊りはいつですか?」って散歩のおばさんが声をかけてくれます。「かぶとむしたくさんいる?」小学生が模擬店を期待してくれくれます。

施設が地域に開かれるってとっても難しいことだけど、櫛の木の盆踊りは健常者も障害者（嫌なことばですか）もなく、どの人も同じ高さで踊って、食べて、お喋りして、地域の人たちと共に作る大切な行事になっています。

来年も、その次の年も毎年8月10日に櫛の木盆踊りを盛大に行なうことは、かしの木の皆さんにとっても、富田の地域の人たちにとっても心待ちにしているイベントのようで、準備は大変ですが、継続していかなければならない大切な行事になってきました。



「〇〇さんは、盆踊りの模擬店の食べ物を全部食べるんだって。」「全部ったって、トウモロコシにみたらしに、アイスクリームに、フランクフルト……そんなに食べたら、ただでさえこんなにお腹、ゆるんじゃってるのに……」青ざめている職員さんを横目に、当の本人は全くお構いなしで大笑いです。毎日ダイエットに心を裂いている女性職員たちは、恐いような羨ましいような、ちょっと複雑な心境だったようです。

〇〇さんは、みんなの頭を小突いたり、“ちょっかいかけたりいたずらが大好きです。職員さんがいくら注意しても鼻で笑って、なおエスカレートしてしまいます。でも「そんなことばかりしていると盆踊り連れてかへん」て、おどかしてみたらあわてて掃除機かけたり廊下を拭いたりとたんに優等生になってしまいます。でも、そんなことでだまされたりする職員さん達じゃありませんよ。

〇〇さんは太鼓をたたくのが大好きです。盆踊りのときは休憩もせず最後までたたき続け、手のひらの豆が破れてそのあとが大変です。誰かが「変わって」って言うてくれば、とたんに不機嫌になります。そんな彼もやっぱり大人で、小さな子どもが太鼓をたたきたそうにしているのを見たら、何も言わずに譲っていました。そのあと時間が経つに連れて引きつった顔といったら、申し訳ないけど笑ってしまいました。



〇〇さんは、盆踊りの前に体調を崩して仕事も休んでたんです。でも盆踊りずーっと楽しみにしていて、その日までになんとか復活して、結局最後まで周囲の心配をよそに、大はしゃぎしてしまいました。そのはしゃぎ方といったら……、担当の職員さんはなぜか腰が引き気味だったような気がしたのは気のせいでしょうか。

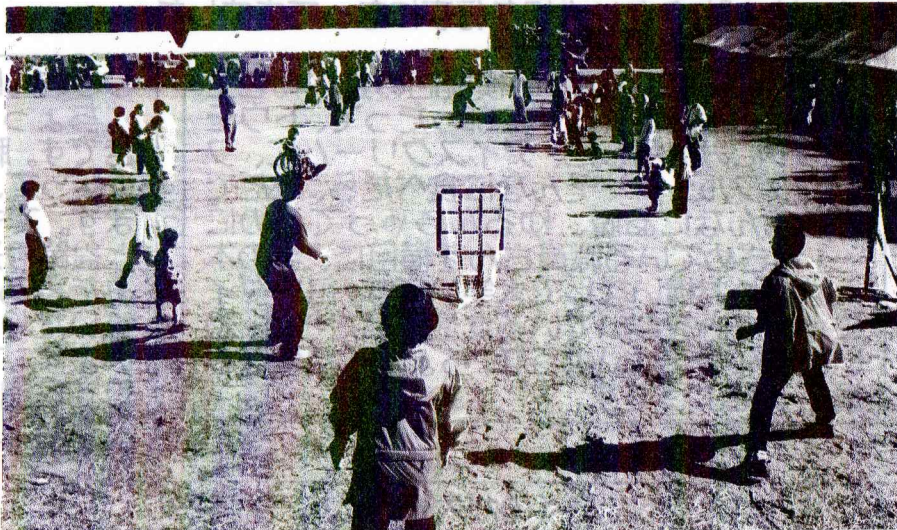
今年も、みんなそれぞれの盆踊りでした。(里・職員)



第2回かしの木フェスティバル ～つながる ひろがる ココロのふれあい～ ご案内

日時：平成13年11月11日（日）
 午前10時～午後2時 小雨決行
 場所：尾西グリーンプラザ北の広場（富田山グラウンド）
 主催：社会福祉法人榎の木福祉会かしの木の会
 後援：尾西市社会福祉協議会 尾西市ボランティア連絡会

地域の多くの方に、かしの木を知っていただき、またふれあっていたきたいという思いから始まった、かしの木フェスティバル。今回も盛りだくさんの企画を用意しました。ご家族皆さんで立ち寄っていただけたら、と思っています。



好評だったストラックアウト 今年もやるよ!!

- 模擬店・バザー うどん みたらし、わたがし、フランクフルト、焼き鳥、ジュース、どて煮、フリーマーケット、Coco 壱番屋
- ステージ よさこい（豊田合成）、のど自慢（景品有り）、エイサー、ブラスバンド（尾西第一中学校）、
- ゲーム ストラックアウト、スタンプラリー、プレイコーナー
- かしの木の里 喫茶店、自主製品の展示販売、写真パネルの展示

一日ボランティアさん、のど自慢などに参加してみようという方、出店してみようというお店や企業団体を受け付けています。下記事務局までご連絡下さい。

お問い合わせ かしの木フェスティバル事務局

榎の木作業所 〒494-0018 尾西市富田字漆畑16番地
 電話0586-61-6055

施設コーナー①

かしの木の里

♪すばらしかったよ!

ブラスバンド演奏

かしの木の里では休日のレクリエーションにお楽しみ行事を企画しています。そんな折、地元尾西第一中学校のブラスバンド部生徒60名がかしの木の里で演奏していただきました。ご存知ブラスバンドとは、ピッコロ、フルート、クラリネット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーンに止まらず、チェロ、チューバ、ドラムなどたくさん楽器による演奏。こんなのが、かしの木の里の食堂で一斉に鳴ったらびっくりして飛び出してしまう人もいるのではないかとちょっぴり心配と、ブラスバンドの演奏が耳からだけでなく、全身に響いてくる体感の楽しさが直接体験できる楽しみでワクワクしていました。

9月16日日曜日の午後、たくさんの生徒が自転車で木曾川堤防沿いにあるかしの木の里へ次々にやって来ました。みんなとっても元気のいいあいさつ。生徒さんたちが食堂のテーブルを片付けての会場づくりから準備。定刻になって、里の住人の利用者がいつもの食堂(会場)に入ると席へ案内され戸惑い気味の人も。

多くの住人がかつて経験したことのある学制服を着た中学生が大勢前に並んでいてくれた。曲目は、日曜の夜テレビ放送のあるちびまる子ちゃんとサザエさんから始まった。音が一斉に鳴った。響き渡った。すごい迫力。観客は目を丸くした。席を立つ者、声をあげる者、体を揺らす人。部屋から逃げる人は一人もいなかった。おどるボンポコリンを聞いた。ミニモニのジャンケンピョンは踊りを見せてくれた。もちろん、里の住人も加わった。刑事ものでは太陽にほえる、はぐれ刑事、Gメン75。これは、サングラスにコート姿の中学生刑事が拳銃で打ち合場のショー。数十人の演奏の前での2名の一生懸命なこのショーに会場も沸きにわきました。なんてすばらしいショーだろう!この後、千と千尋の神隠しや波乗りジョニー、紅(X)と続きました。

演奏が終わって後片付けが済んでから、みんな一緒になって休憩をしました。時間はあっという間に過ぎていきました。尾西第一中学校の皆さん、どうもありがとうございます。(K・I)



・ 元気あふれるブラスバンドの演奏&ショー

施設コーナー②

檜の木作業所

檜の木作業所の取り組みについて

通所施設である檜の木園と檜の木作業所には、第1から第5までの作業室があります。そのうちの第3作業室から第5作業室までが檜の木作業所に所属しています。さて、この第1から第5までの作業室、ひとりひとりの段階に応じた環境（作業室）を用意しようということに分けられているのですが、それはハンディキャップの重さとか、能力といったもので分けられているのではなく、その人が「仕事」というものをどのように捉えているか、どのように「仕事」と向き合っているか、その部分にのみ着目し、グループ分けされています。例えば、ここにひとつの仕事があります。不器用ながらその仕事に対して精一杯の努力をし、1日かけてようやく1つ仕上げることができました。大事なのは仕上げた数ではなく、その人の精一杯の努力なのだと思います。そういった観点からひとりひとりの段階を的確に探り、その段階に応じた作業室を用意するのです。そして、そのひとりひとりの段階は確実にステップアップしていきます。その歩みはそれぞれ違いますが、そのステップアップに対して、作業室の異動というシステムが必要になってきます。そして、その異動がひとりひとりにとっての目標になるのです。

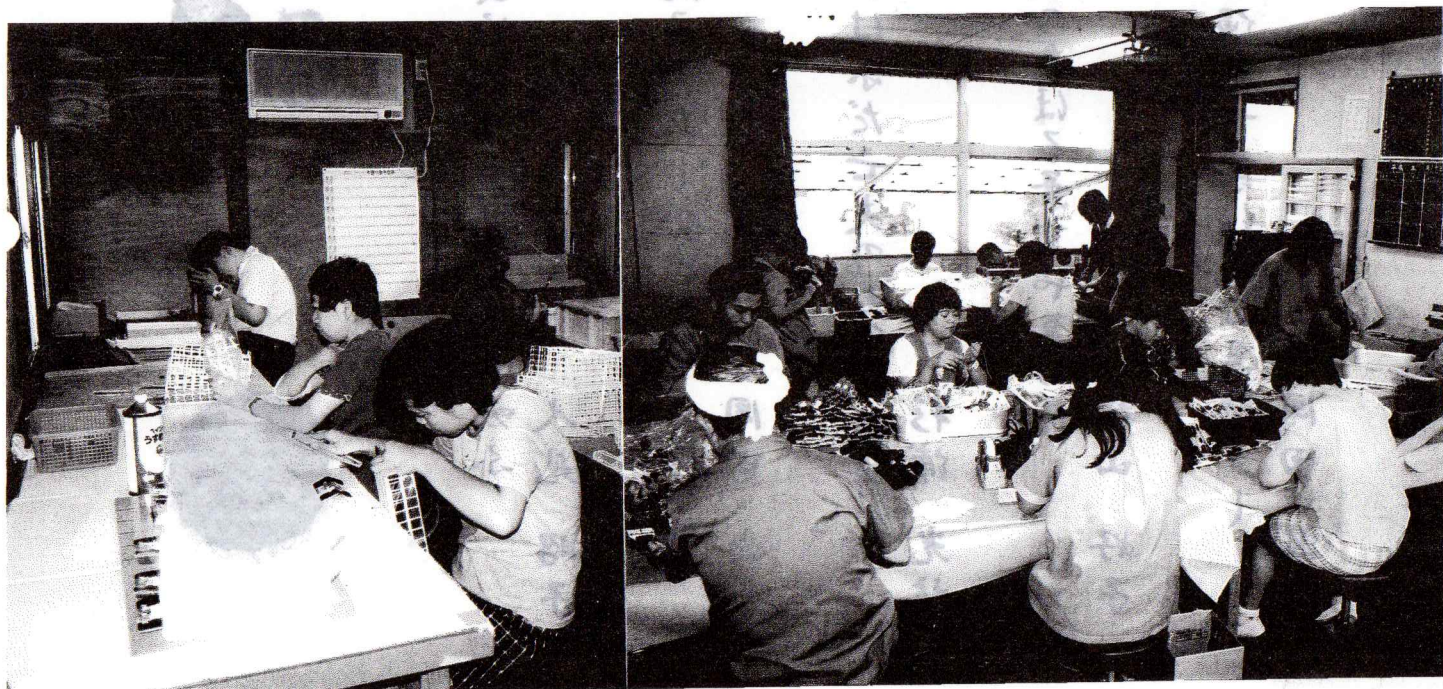


第3作業室

— 10 —

さて、檜の木園と檜の木作業所の各作業室が流動的なものであることは、知っていただけたと思いますが、ステップアップしていくということは、必然的に作業所にはより一般就労に近い集団が構成されます。つまり作業所の取り組みの1つとして就労支援ということが掲げられます。この就労支援という取り組みは、今日のこの長引く不況の中で最も困難を強いられる取り組みです。長い年月をかけて少しずつ力をつけながらも、施設の外でその力を発揮する場を得られない。或いは、外の世界で頑張っていた方が、その働き場を失ってしまうというケースはここ数年で確実に多くなってしまっています。作業所の就労支援という取り組みとその現状を、多くの方に知って頂くことが、或いはわずかな可能性かもしれませんが、今後の展開への糸口になるのでは、と思いここで紹介させて頂きました。

また、他にも前月号で紹介された檜の木園と同様、「労働一賃金一生活」の繋がりを基本にし、様々な取り組みが日常の中で行われています。仕事をし、その糧で自らの生活（例え、その極一部であっても）を支える。この経験の積み重ねが、自信へと繋がり、つまり自己実現の可能性を拡げ、その人の生をより豊かなものにしていくのだと…。自分の人生をよりよいものにしたい、これは誰もが望むことです。私達の取り組みは、決して特別なものではなく、誰にとっても（ハンディキャップの有無に関わらず）当たり前な、極々基本的なことを大切にしていこう、そんな風に考えています。（檜の木作業所職員）



第4作業室と第5作業室

文芸コーナー

尾西牡丹会

サンガラス掛けて高野を僧案内

渡辺 長久

みさきぎに尽きる鳥道稲の花

栗山 チヨコ

旅一夜しだれ咲く萩乱す雨

太田 美智子

偶さかに訪ひし古刹の萩は実

木之村 美仔子



稲妻や調理士外で煙草吸ふ

人見 昭子

長病みていつしか虫を聞くころに

岡田 たみ子

表札は未だ亡夫のもの秋彼岸

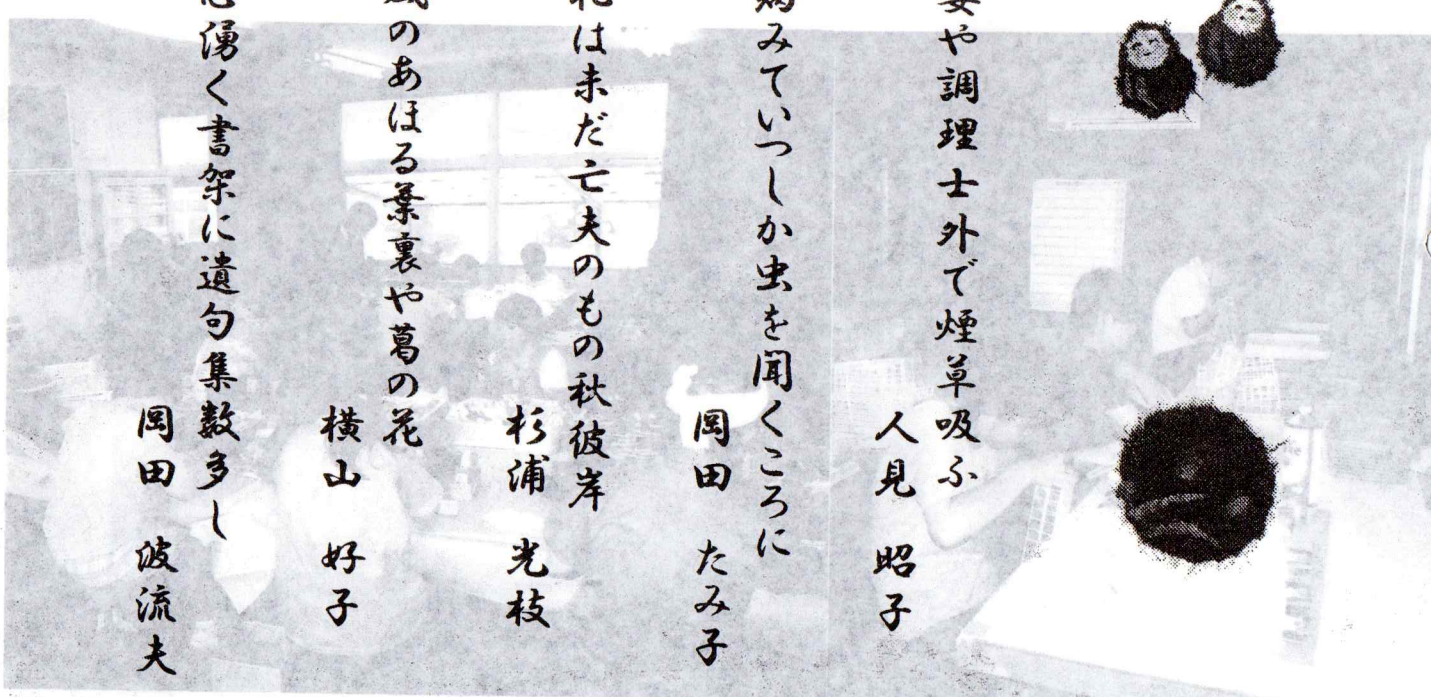
杉浦 光枝

漁風にあほる景裏や葛の花

横山 好子

秋思傷く書架に遺句集数多し

岡田 波流夫



室業并る菓と室業并る菓

有志による積立金の取り組み始まる！！

かしの木の中・長期整備事業計画については、去る4月29日の定例総会における交流会の中で、活発な意見交換を経て採択され、7月13日の臨時総会で、具体的な取り組みが協議されました。その結果、中長期整備事業計画を、計画的に進めていくために、自己資金等の確保の一環として、会員を中心とした有志による、整備事業資金の積み立てを、実施していくことになりました。

私たちの願いをかたちにするために、必要な設備を必要な時期に実現するために、最も大切なことは、ひとり一人ができる事を、精一杯取り組むことではないでしょうか。

そして、その取り組みを人から人へと運動の輪を広げて、手をつなぎ合わせ続けることにより、実を結ぶものと信じています。



会員の皆さんはもちろんのこと、日頃から温かいご支援をいただいているこの地域の支援者の皆様方へ、ご理解とご支援をよろしくお祈りします。

中・長期整備事業計画の内訳（9月18日の臨時集会で一部見直しました）

1. 檜の木作業所分場施設の新設整備
2. グループホームの新設整備
3. 重症心身障害児者通園事業の整備
4. 檜の木作業所の建替（移転と定員増）
5. 知的障害者生活支援事業の整備
6. 通勤寮の新設整備



中・長期整備事業の自己資金の積立状況（本会報誌で継続報告していきます）

1. 積立計画

平均積立額：3,000円/月・人 → 1日当たり100円の積立を目標にしました。
（最低積立額 1,000円/月・人）

積立目標額：3,000万円（4年間の総合計）

協力者数：150名以上の有志

積立方法：郵便振替（口座番号：00840-8-20353、かしの木の会）

積立期間：平成13年8月1日から平成17年7月31日までの4年間

2. 積立状況（9月6日現在）

実績額：1,269,530円

協力者数：90名

かしの木の会の趣意書を活動の原点として、積立協力等が困難な人たちに配慮しお互いに助け合いながら、目標達成に向けて精一杯取り組んでいきましょう。

お知らせコーナー

10月の予定

富田山運動場清掃	： 10月4日(木)
雨天の場合	5日(金)
赤い羽根街頭募金	： 10月7日(日)
そぶえ産業まつり	： 10月13日(土)
樫の木運動会	： 10月14日(日)
雨天の場合	21日(日)
かしの木バザー	： 10月20日(土)
一宮福祉と ボランティア展	： 10月20日(土) ～ 21日(日)
びさいまつり	： 10月27日(土) ～ 28日(日)

11月と12月の予定

尾西クリーン作戦	： 11月4日(日)
輝良ッ都フェスティバル	： 11月4日(日)
場所/一宮ファッションデザインセンター	
第2回かしの木 フェスティバル	： 11月11日(日)
第10回福祉フェスティバル	： 11月18日(日)
コスモスまつり	： 11月25日(日)
かしの木餅つき大会	： 12月9日(日)

ご協力ありがとうございました

待望のかしの木の会のプレハブが、関係者のご協力により5月18日に完成し、各委員会の会議や手芸製作会等、利用する機会も少しずつ増えてきたところです。

前回の会報誌で、プレハブに必要な備品類の提供を呼びかけたところ、多くの方々から、たくさんの物品をご提供いただきました。

本誌を借りまして、ご提供いただきました方々に、厚く御礼申し上げます。

主な提供物品(提供者のお名前は、割愛させていただきました。)

- 新品：電気ポット、掛け時計、カーテン一式(取付工事込み)、ホワイトボード、大型扇風機、電磁調理器、消火器
- 中古：冷蔵庫、ガス炉、掛け時計、ステン鍋、カーペット、流し台、パワソケット、給湯器(取付工事込み)、木製椅子、会議机、事務机、書棚、食器棚、仮設トイレ

かしの木の会 手芸製作会

10月12日(金)	・ 23日(火)
11月14日(水)	・ 27日(火)
12月6日(木)	・ 18日(火)

いづれも、場所はかしの木の里(プレハブ)にて
時間は9:30 ~ 15:00 です。

尚、かしの木の会/手芸品 かしの木の里/自主製品を、かしの木の里・施設内にて販売しております。お立寄りの際はどうぞご覧下さい。



地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局	〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147番地	Tel 0586-63-2111
	かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
樫の木福祉会☆樫の木作業所	尾西市富田字漆畑1 6番地	Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
☆樫の木園	尾西市富田字若宮1 7番地	Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
☆かしの木の里	尾西市富田字砂原2147番地	Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200